

高度映像配信サービスの実現に向けた取り組み

（一般社団法人）映像配信高度化機構

2020年に向けた社会全体のICT化 アクションプラン 概要

NexCDi-f

言葉の壁をなくす

多言語音声翻訳対応の拡充

- ✓ グローバルコミュニケーション開発推進協議会中心に翻訳技術の社会実装化。
- ✓ 対応する言語や分野の拡充(医療、ショッピング、観光等分野)。

2017年までに10言語での翻訳対応拡充

情報の壁をなくす

デジタルサイネージの機能拡大

- ✓ 災害時の情報一斉配信、属性に応じた情報提供実現。
- ✓ このため、DSC※1中心に共通仕様策定、サイネージの機能を共通化。

2015年度に共通仕様策定

移動の壁をなくす

オープンデータの利活用推進

- ✓ 公共交通の運行情報等がリアルタイムに把握可能に。
- ✓ 公共交通オープンデータ研究会を中心に観光地等における社会実証。

2018年までに情報提供サービス実現

日本の魅力を発信する

放送コンテンツの海外展開

- ✓ 関係省庁連携の下、BEAJ※2を中心、放送局や権利者団体が協力しつつ推進。

2018年度までに放送コンテンツ関連海外市場売上高を2010年度の約3倍に増加

高度なICT利活用

※1 DSC: 一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
※2 BEAJ: 一般社団法人 放送コンテンツ海外展開促進機構

【各分野横断的なアクションプラン】

I. 都市サービスの高度化

スマートフォンや交通系ICカード等を活用。街中や公共施設のサイネージ、商業施設や宿泊施設等において、訪日外国人、高齢者、障がい者をはじめ、誰もが、属性(言語等)や位置に応じた最適な情報やサービス入手。

II. 高度な映像配信サービス

一映画館、美術館・博物館、競技場などの公共空間のデジタルサイネージ等大画面に対し、臨場感ある4K・8Kの映像配信を実現。

2015年度中に実施地域、実施主体を決定、2016年度中実施地域での先行着手

2015年度中に実施地域、実施主体を決定、2016年度中実施地域での先行着手



世界最高水準のICTインフラ

※3 A-PAB: 一般社団法人放送サービス高度化推進協会

接続の壁をなくす

無料公衆無線LAN環境の整備促進

- ✓ 無料公衆無線LAN整備促進協議会中心に、認証連携等に着手。
- ✓ 公共的な観光・防災拠点(推計約29,000カ所)に整備。(箇所数は今後精査)

2015年から認証連携等に着手
2020年までに公共的な観光・防災拠点到整備

利用のストレスをなくす

第5世代移動通信システムの実用化

- 通信容量 現在の1,000倍
通信速度 10Gbps、接続機器数 100倍
- ✓ 第5世代モバイル推進フォーラム中心に2017年度から5Gの総合実証を実施。

2020年に5Gを世界に先駆けて実用化

臨場感の向上、感動の共有

4K・8Kの推進

- ✓ A-PAB※3中心に4K・8Kの実用放送開始等に必要な環境整備。

2018年に4K・8Kの実用放送開始

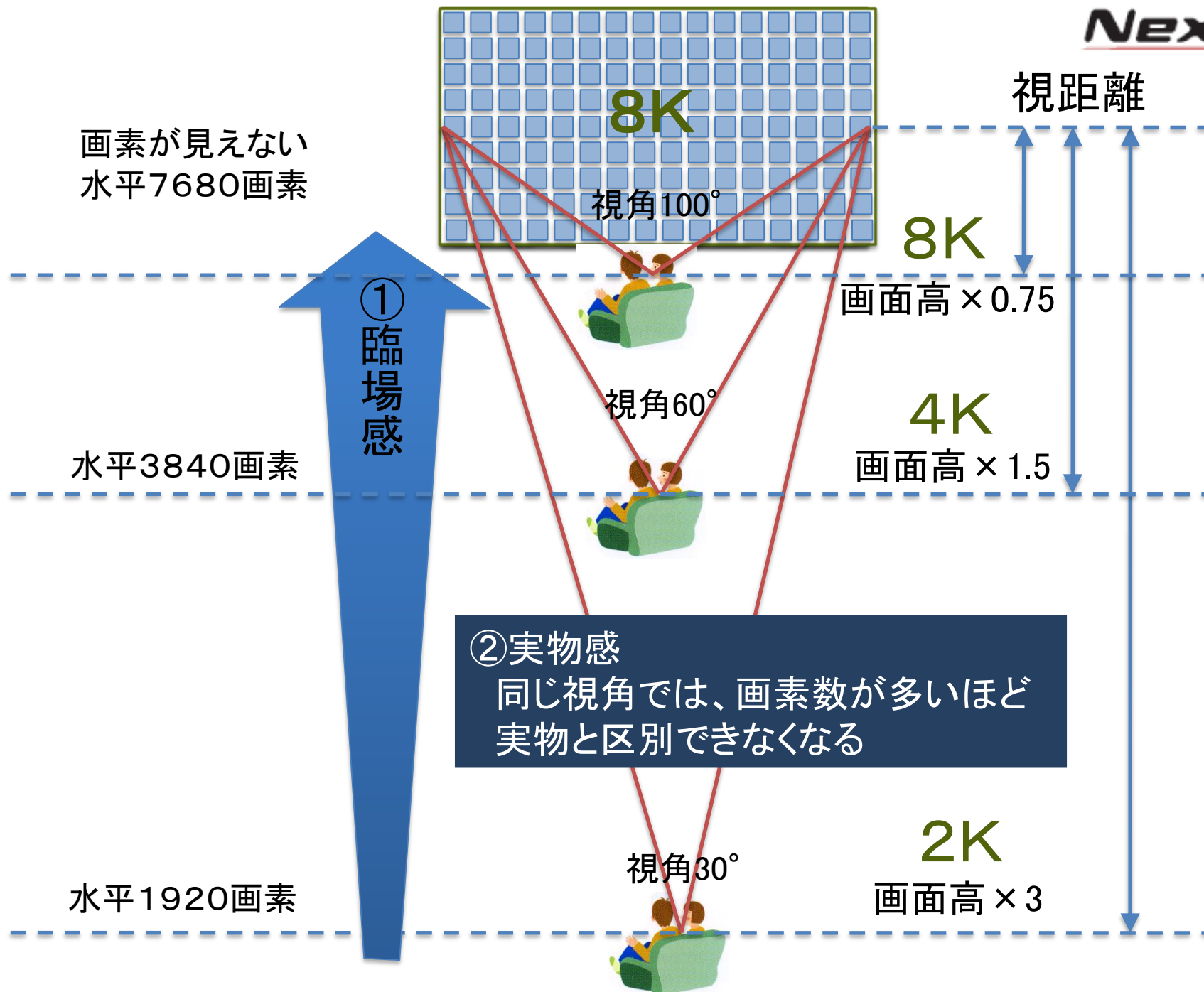
利用の不安をなくす

サイバーセキュリティの強化

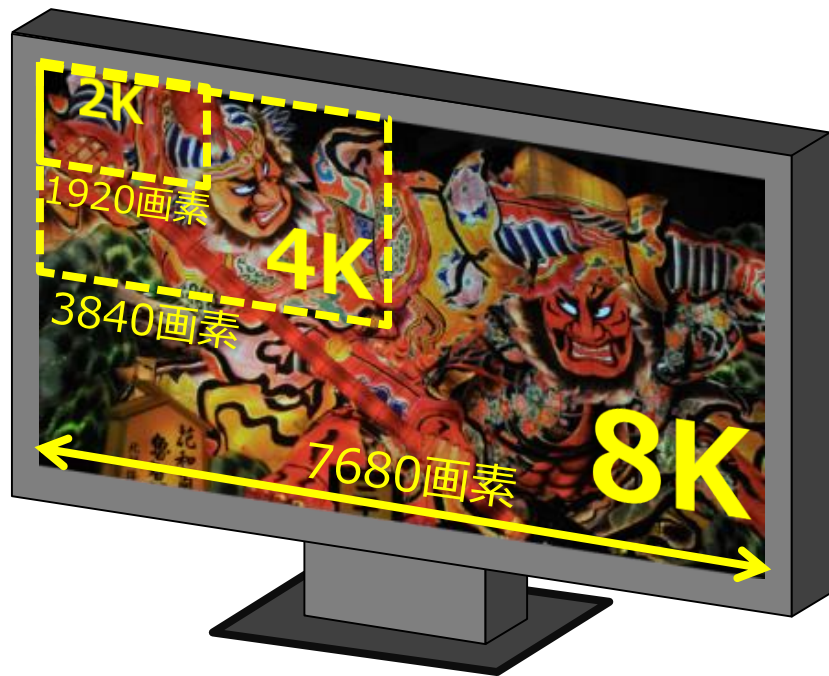
- ✓ 実践的なサイバー防御演習を通じたサイバーセキュリティ人材の育成
- ✓ ICT-ISACを通じたICT分野全体にわたる情報共有の促進

2016年度からサイバー防御演習及び情報共有体制の拡充・強化

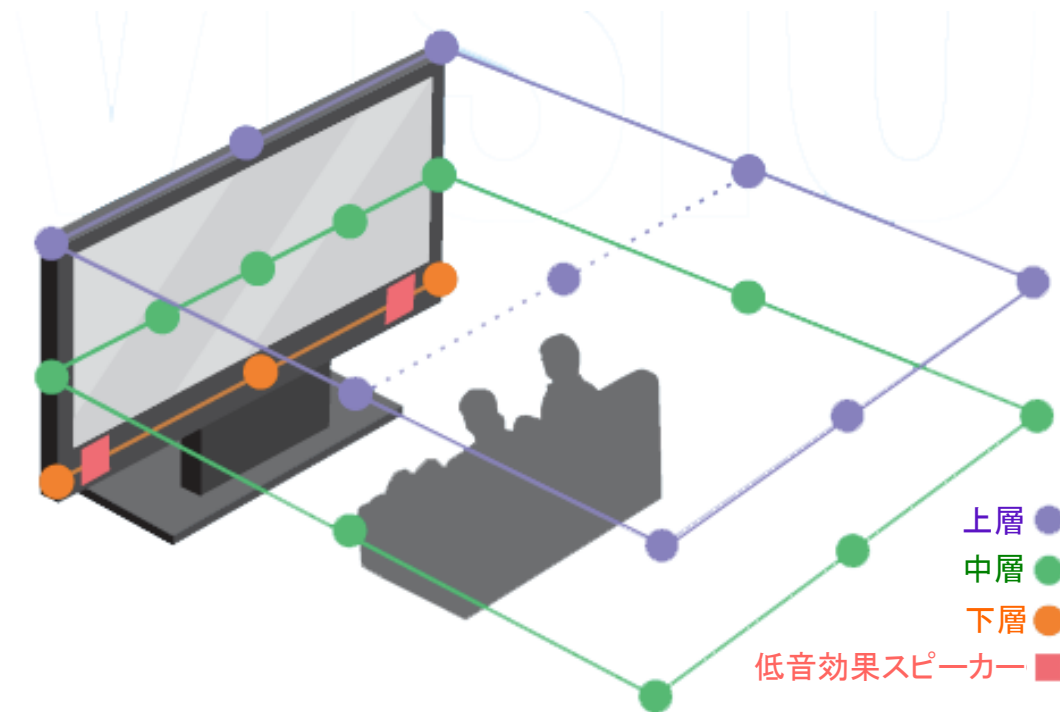
- 名称 一般社団法人 映像配信高度化機構
 英文名: Next Generation Contents Distribution Forum
- 所在地 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-4 FORUM赤坂4F
- 目的 4K/8K、3D、立体音響など次世代コンテンツの送受信に関する技術仕様を策定するとともに、大画面上映施設の普及推進を支援し、スポーツ、音楽、文化、教育など様々な分野で利活用できる環境作りに貢献する。
- 事業内容 総務省の「2020年に向けた社会全体のICT化推進に関する懇談会」の行動指針に沿って、全国各地で4K8K大画面パブリックビューイングを展開し、上映施設の普及を推進支援する。さらに、2019年のラグビーW杯、2020年の東京オリンピック・パラリンピック以降も、4K8K等の上映施設を有効活用し、誰もが多種多様でリッチな4K8K等コンテンツを手軽に楽しめる環境を作り出し、地域創生にも貢献する。
- 代表理事 中村伊知哉 慶応義塾大学教授
- 会員社 18社(2018年4月現在)NHK、スカパー、電通、日テレ、NTT、WOWOW、イマジカロボット、NEP、コニカミルタ、ソニー、東北新社、博報堂DY、パナソニック、富士通、キャノン、五藤光学、J:COM、三菱電機。



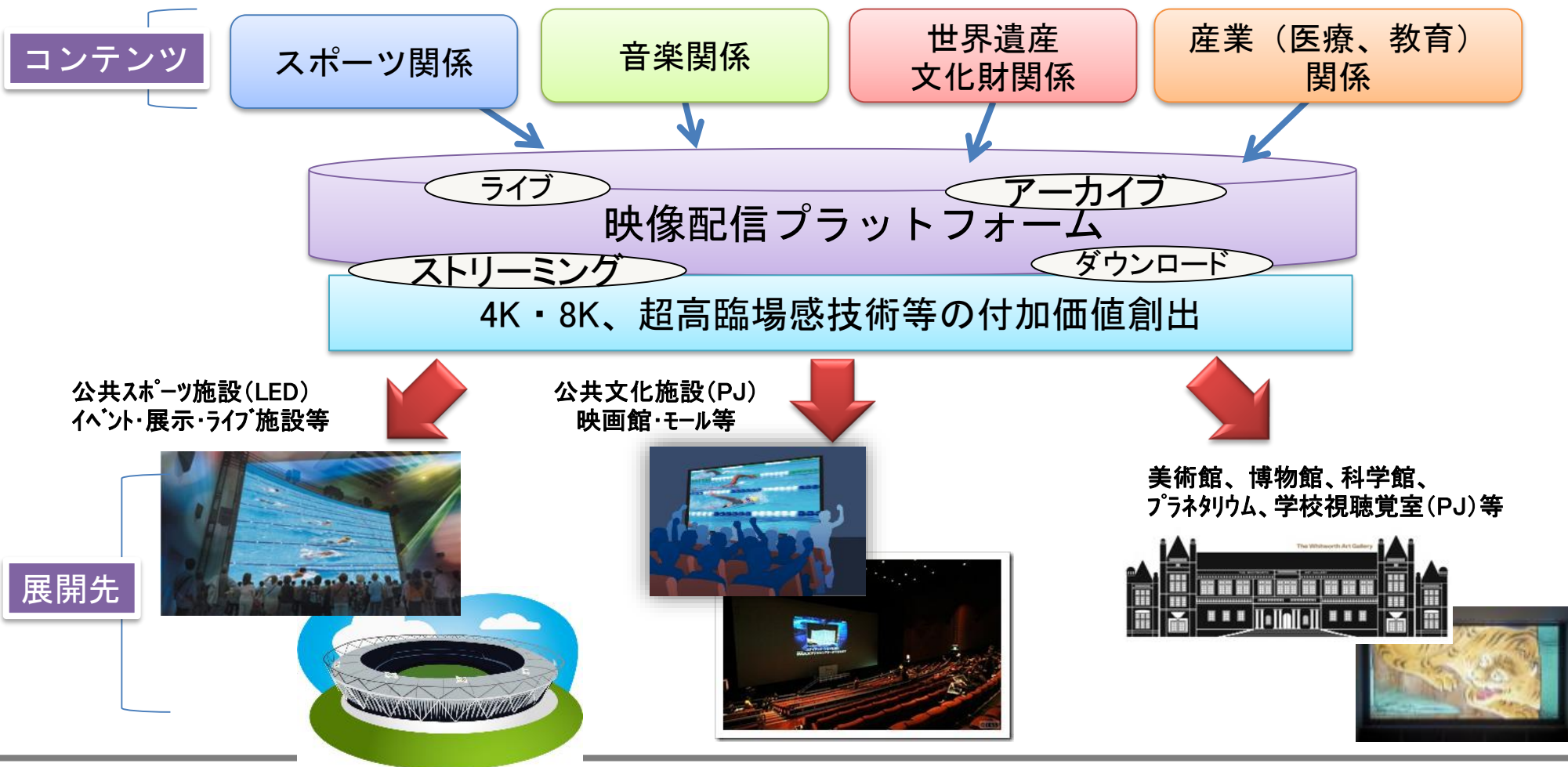
2 2.2 マルチチャンネル立体音響



現行ハイビジョンの4倍、16倍の超高精細映像

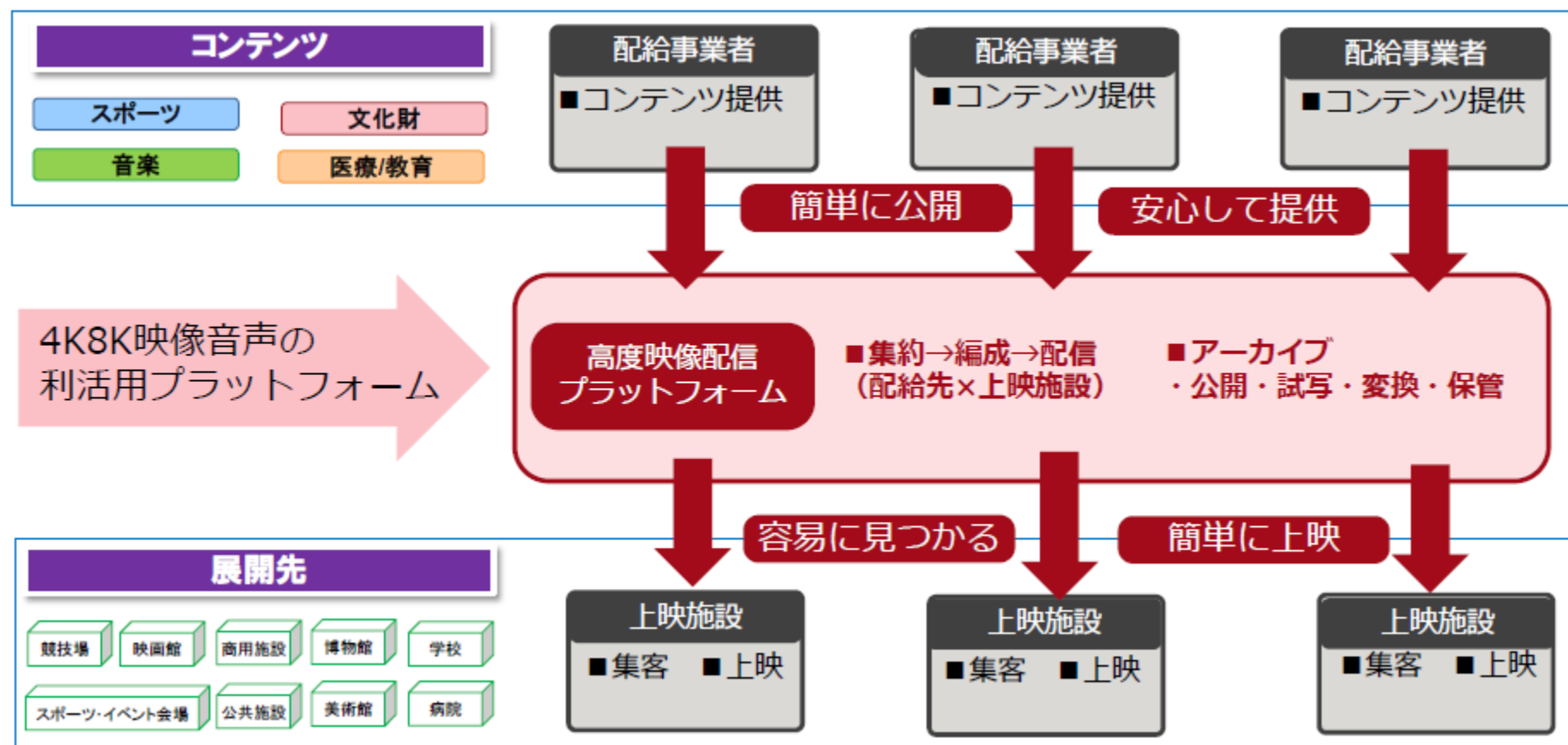


映像配信高度化機構は、4K8K等の高精細映像と立体音響による大画面上映施設整備をサポートする。ネット経由、衛星経由でコンテンツをやり取りする共通仕様を定め、スポーツ、音楽、美術、科学、教育など様々な分野で4K8K等コンテンツを手軽に低コストで利活用できる環境を整え、地域創生にも資する。



4K8Kコンテンツの利活用(映像流通)を活性化するためのプラットフォームを提供

- 上映施設が高度コンテンツを容易に見つけて、簡単に上映できる
- 配給事業者が安心してコンテンツを公開・提供できる。



曲面スクリーン（横6.2m 縦3.5m）
8Kプロジェクター（PJ） 64席



プラネタリウムが4K 8K化の先頭を走る！
60／300館で4KPJ導入済。8K対応も複数館

スクリーン 横19m 縦11m 4KPJ 195席



科学館、博物館、音楽ホールなど公共文化施設では、200～300施設で4K導入済

スクリーン横26m 縦18m 4KPJ 407席



映画館は、4K化・大画面化・高付加価値化の方向
1500/3000スクリーン映画館 4K（DCP再生のみ）導入済



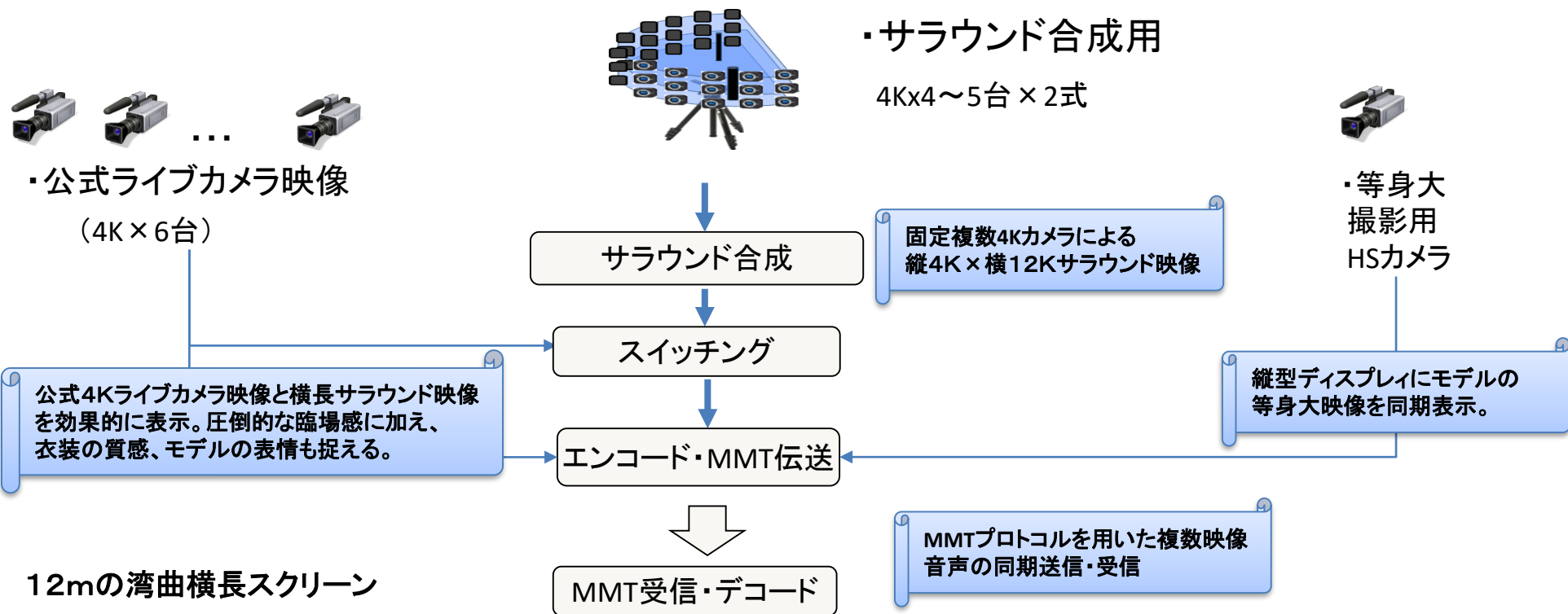
スクリーン横10m 縦5m 4KLED 200席
高機能 (HDR、広色域、HFR) でライブ配信にも対応

高度映像配信サービスの検証(29年度)

タイトル／コンテンツ	実施場所	検証項目	
「高度映像配信プラットフォーム」の パイロット版の開発と技術検証 【アーカイブ】サカナクション「Aoi」、 コズミック・フロント・ミュージックほか	NHK-MT THEATER U (2018/03/13- 14)	・オールジャパンの技術仕様1.0版に準拠した 「配信PF」のパイロット版を開発。 ・4K、8Kコンテンツのダウンロード配信と受信再 生機による大画面上映で、検証、評価	
4Kライブ配信@2019ラグビーワールド カップ開催都市 【ライブ】ラグビー日本代表VSオーストラ リア代表生中継	日比谷公園 (2017/11/04)	・人気スポーツの4Kライブビューイングの実現 可能性の検証 ・「大画面LED」の技術、ビジネス性の検証	
スポーツの4K有料ライブ配信の検証 【ライブ】B.LEAGUE ALL-STAR GAME2018	熊本県立総合体 育館／恵比寿ガー デンプレイス (2018/01/14)	・Bリーグのオールスター戦の4Kライブ配信の技 術検証 ・有料チケット、飲食物販、広告収入など課金 モデルの検証 ・DJ、音楽、音場再現など付加価値の検証	
4K映像複数伝送による、4K×3面の 横長大画面によるライブビューイング 【ライブ】東京ガールズコレクション TGC2018	横浜アリーナ／ 表参道ヒルズ・ スペースO (2018/03/31)	・複数台の4Kカメラ映像をシムレスに繋ぎ、 4K×3面の横長大画面にライブ配信。TGC のステージを高い臨場感で再現。 ・16:9の画角を遥かに超える特別な臨場感の ビジネス性と技術の検証	

「複数映像による4Kライブ配信検証」 横12Kライブビューイング

NexCDi-f



12mの湾曲横長スクリーン
4Kx3面ワイド (横12K)



4Kx3種映像(マルチアングル)

